

## ネイティブ微生物 N-アセチルノイラミン酸アルドラーーゼ

*Cat. No. DIA-182*

*Lot. No. (See product label)*

### はじめに

#### □明

酵素学において、N-アセチルヌラミン酸リーゼ (EC 4.1.3.3) は、次の化学反応を触媒する酵素です: N-アセチルヌラミン酸  $\leftrightarrow$  N-アセチル-D-マンノサミン + ピルビン酸。したがって、この酵素は1つの基質、N-アセチルヌラミン酸と、2つの生成物、N-アセチル-D-マンノサミンおよびピルビン酸を持っています。この酵素はリーゼのファミリーに属し、特に炭素-炭素結合を切断するオキソ酸リーゼに分類されます。

#### 用途

この酵素は、臨床分析において関連する酵素と結合することで、N-アセチルノイラミン酸およびシアル酸の酵素的測定に役立ちます。産業用途においては、この酵素はシアル酸の酵素的合成に有用です。

#### 別名

N-アセチルノイラミン酸ピルビン酸リーゼ; N-アセチルノイラミン酸リーゼ; NANA アルドラーーゼ; EC 4.1.3.3; N-アセチルノイラミン酸ピルビン酸リーゼ (N-アセチル-D-マンノサミン生成); N-アセチルノイラミン酸アルドラーーゼ; アセチルノイラミン酸リーゼ; シアル酸アルドラーーゼ; シアル酸アルドラーーゼ; シアレートリーゼ; N-アセチルノイラミン酸アルドラーーゼ; ノイラミン酸アルドラーーゼ; N-アセチルノイラミン酸アルドラーーゼ; ノイラミン酸アルドラーーゼ; N-アセチルノイラミン酸リーゼ; NPL; NALase; NANA リーゼ; アセチルノイラミン酸ピルビン酸リーゼ; N-アセチルノイラミン酸ピルビン酸リーゼ

### 製品情報

#### 由来

微生物

#### 外観

黄褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された

#### 形態

フリーズドライパウダー

#### EC番号

EC 4.1.3.3

#### CAS登録番号

9027-60-5

#### 分子量

approx. 98 kDa

#### 活性

グレード III 15U/mg-固体以上 (30U/mg-タンパク質以上) 、 (安定剤約30%を含む)

#### 混入物

カタラーゼ < 1.0%、NADHオキシダーゼ < 1.0×10<sup>-3</sup>%

#### 等電点

4.6±0.1

#### pH安定性

pH 6.0–9.0 (10°C, 25時間)

#### 最適pH

7.5-8.0

#### 熱安定性

65°C未満 (pH 7.5、30分)

#### 最適温度

70°C

#### ミカエリス定数

2.5×10<sup>-3</sup>M (N-アセチルノイラミン酸)

#### 構造

酵素1モルあたり3つのサブユニット (約35,000)

#### 阻害剤

p-クロロ水銀ベンゾエート、ドデシル硫酸ナトリウム、Hg<sup>++</sup>、Ag<sup>+</sup>

安定性

-20°Cで少なくとも6ヶ月間安定しています